

競技概要(茨城予選)

【競技方】 ・ 18ホールストロークプレー

＊悪天候等により9ホール競技に短縮する場合もある

【予選通】 ・ **プロ25位タイ、アマ10位タイ**までが決勝ラウンド進出

【使用】 ・ 男子プロ・研修生、男子アマは**Competition Tee** 使用

・ シニア(満50歳以上)の男子プロ・研修生、男子アマは**レギュラーティ** (青) 使用

・ 女子プロ・研修生、女子アマは**フロントティ** (白) 使用

【その他】 ・ 2点間距離計測機の使用を可能とする(**高低差機能は禁止**)

・ アウト・オブ・バウンズの境界は、白杭をもって標示とする。

・ 修理地の区域は、青杭または白線をもってその限界を標示する。

・ レッドペナルティーエリアは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する

・ ジェネラルエリアにおいて、球がその勢いで地面に食い込んでいるときは罪無しに拾い上げ、地面に食い込んでいた場所の直後を基点に1クラブレンジス以内のジェネラルエリアにドロップをする。

・ カート道路や舗装された道路、サブグリーン(グリーンエッジを含む)はプレー禁止とする。

その際、スタンスがかかる場合も救済を受けなければならない。

・ 一部グリーンとグリーンエッジの境界に溝があり、溝に球が触れている場合はオングリーンとする。

・ ホールとホールの間では、練習ストロークをしてはならない。ただし、ハーフターン時のパッティング練習のみ認める(練習場及びアプローチ練習は禁止)

・ プレー中にて処置について疑問がある場合は2つの球をプレーしてそのホールを終えることができる。その際スコアカードを提出する前に、競技委員に報告しなければならない。

・ **3番ホール、17番ホール**にドロップエリアを1箇所用意しています。

ラテラル・ウォーターハザード内に球が止まって打てない時には、通常のラテラル・ウォーターハザードの処置をするか、最後に境界線を越えた地点に最も近いドロップエリア(黄線内)に1打付加でドロップしてプレーすることが出来る。

・ **9番ホール**のレッドペナルティーエリアにある場合、追加の選択肢として、1打罰を加え元の球か別の球をそのペナルティーエリアの反対側(対岸)にドロップすることカ